

## 1. 活動の概要

6月23日(木)、吉賀町立蔵木小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。まず、航空写真を基に作成した遺跡地図を見て、学校周辺や自宅の近くに遺跡がないか探しました。吉賀町の中でも蔵木小学校周辺には遺跡が多いことが分かって皆さん感心していました。実際に発掘で見つかった土器を観察し、触ることもできたので、土器の大きさや重さが体験でき歓声が上がっていました。

体験活動は「和同開珎づくり」を行いました。お金の歴史を埋蔵文化財調査センターの職員から聞き、実際に金属を溶かして一人一人の和同開珎を作りました。金属を溶かす作業ですので危険な部分もありますが、講師の安全上の注意をよく聞き、手順良く安全に皆さん作業ができました。鋳型を開けるときの皆さんのどきどきが伝わってくるようでした。一人の失敗もなく、和同開珎づくりができ、お金の作り方を学びました。

## 2. 活動の様子

### 1)蔵木小学校周辺の遺跡を知る



「学校や家の近くにいせきはあるかな？」



「本物の土器はざらざらしてるね」

### 2)古代体験活動～和同開珎の作り～



「協力してつくりました」



「和同開珎うまくできたかな？」

## 3. 子ども塾を終えて

### 1)児童の皆さんから…

- 近くに遺跡があることを知らなかったのが、わかってよかった。
- 本物の土器にさわって大きさがわかった。
- 金属を流すのが難しかったけど大丈夫だった。・本物の土器にさわられて嬉しかった。

### 2)担任の先生から…

- 写真の地図は校区の遺跡の場所がわかりやすくて良かったです。
- 本物の土器に触れたのが児童にも新鮮だったようです。
- 生徒達の反応もよく、また応募したい地元で出土した土器を見たり、お話を聞いたりしたことで教科書での学習ではわからない質感なども感じる事ができました。

### 3)埋文センターから

社会科で歴史を学んでいない4年生もいましたが皆さんしっかり話を聞いていました。遺跡を一生懸命探し、自宅や学校周辺にも数多くの遺跡があることがわかり、また出土した本物の土器に触れることで地域の歴史に興味がありました。和同開珎作りは児童の皆さんが協力して安全に作業ができました。金属を溶かす作業は普段行えないものです。古代の技術を体験して普段見慣れたお金にも関心が高まったようです。